

はじめに(暫定版)

本資料(以下、“本素案”と表記)は、意見交換のための“たたき台”です。

(1) “本素案”の“はじめに”の経緯、目的、位置付けなど、別途整理する予定です。

1. 第1次HPから第2次HPの再構築へ(再構築の経緯)

* 素案 2018/3/15日

(1)H16年10月に本番を開始した第1次HP(以下、旧HPと表記)は、第2次HP(以下、新HPと表記)として、再構築され、H30年4月1日、本番移行(予定)

* 第1次HPの開発の概要は、“開発記録”を参照

(2)旧HPから新HPへの再構築の経緯

①H16年5月、市のパイロット事業を、日の里の協議会が受託し、広報部会が基本構想～設計を行い、10月に本番を開始した。

* 第1次日の里HPの開発記録を参照

②旧HPは、この間、広報部会全体会議で提案された各種改善を施してきた。

③旧HPは、13年間のICTの技術革新の進展による“陳腐化”及び、ランニング費用の高止まりが顕著になった。

④H29年8月、新HP再構築を決定、次期HP作業部会が発足した。

<参考:パイロット事業>

市は、旧HPの基本ソフトの開発費用及び、年間のランニング費用を負担した。

HXX年X月以降、HPの資産とランニング費用の負担を日の里の協議会に移管した。

2. 第2次HPの検討の概要(検討の前提、実行体制)

(1)新HPの再構築の作業部会の検討の前提など

H29年7月、協議会三役・広報部会の合同会議に於いて、活動方針を確認

- ①新HPの本番移行は、H30年4月1日
- ②新HPに関わる、一時費用・年間のランニング費用は、予算の枠内
- ③新HPの目的・目標は、H16年度の協議会で承認された旧HPの目的・目標を発展・継承
- ④新HPの開発工程は「基本構想」から「本番移行」終了まで
- ⑤開発工程の節目で協議会長の承認、広報部会全体会議での報告・確認(手続面)が必要

(2) 次期HPの検討の実行体制

H29年8月、協議会長をトップとする実行体制を発足させた。

- ①次期HP検討会？ 略
- ②次期HP作業部会 ⇒ 次期HP検討会の下部組織
作業部会長1人(協議会副会長)
広報部会長代行1人、事務局員1人、広報部会員1人、まちづくり委員2人、HP協力員3人

3. 第2次HPの検討の概要(実行スケジュール、HP事業者の選定)

(3)HP事業者の選定

宗像市を拠点とするホームスタッフ社を発注先とした。

- ①H29年8月、KS大学様と検討を開始したが、開発ツールのCMS(無料オープンソース)によるHP投稿時の操作性、レンタルサーバの費用、保守体制など、予期せぬ課題が浮上したため検討を断念した。

KS大学様には貴重な情報を提供して頂いた。

- ②一方、ホームスタッフ社の場合、費用総額、手作り(プログラム)とCMSの併用によるHP投稿時の操作性、本番移行後の保守体制など、協議会の発注要件に適合した。

(4)次期HPの概略スケジュール

- ①仕様検討:9月~12月末(発注仕様書作成)
- ②仕様確認、HP基本ソフト開発:1月から2月末
- ③機能テスト、総合テスト:3月
- ④本番切替:4月1日
- ⑤旧HP停止:3月21日

4. 次期HP／再構築の進め方の概念図

7月26日の三役・広報部会の合同会議でHPで紹介

2017/7/25

現行HP(H16年10月1日立上げ)

【日の里HP参照】

1. 経緯

(1)市のパイロット事業(市の予算)

****市がHP基本ソフトを提供**

(2)当初、日の里で試行後、他の11地区
コミュニティへ横展開を計画

2. 進め方

(1)“基本構想”を先行

①協議会の規約を尊重

②HPの「目的・目標」を明示

(2)HPの「基本計画」の策定

(3)HPの設計製作(HP企業が主導)

3. H16年8月/広報部会・役員会で
一括承認手続き、10月1日本番開始

次期HP／再構築の進め方 ⇒ 計画に基づく事業の推進

1. 次期HPの再構築は、住民参加型のまちづくりの好機と考える。

(1)6月1日、全町内会、全構成団体に情報発信されている。(13年間で初)

(2)推進体制を立上げ、基本計画書(見える化)を策定する。(会長の承認)

(3)会長の明確なリーダーシップの下、計画的に事業を推進する... など。

2. 「事前の調査検討」

(1)現行HPの総括(棚卸)を行い、
次期HPに反映させる。

* HP事業の継続性の視点

(2) ****市のHP基本ソフト**

①現行HPの“分かり難さ”は、
一部、HP基本ソフトの構造面
にある(移植性は高い)

3. “基本構想”の策定

(1)目指したい将来の日の里のまちの姿

(2)それを実現するためのシナリオ

(3)HPの果たすべき役割

(4)HPの目的・目標など

4. 「基本計画書」の策定

5. HP企業の選定

6. HPの設計、制作(HP企業主導)

7. 期待効果

(1)協議会の組織的(役員会、広報部会)な活動により、各町内会、構成団体に、
「基本計画」の浸透を図る、この結果、HPの質的の向上と、HPへの理解が進む。

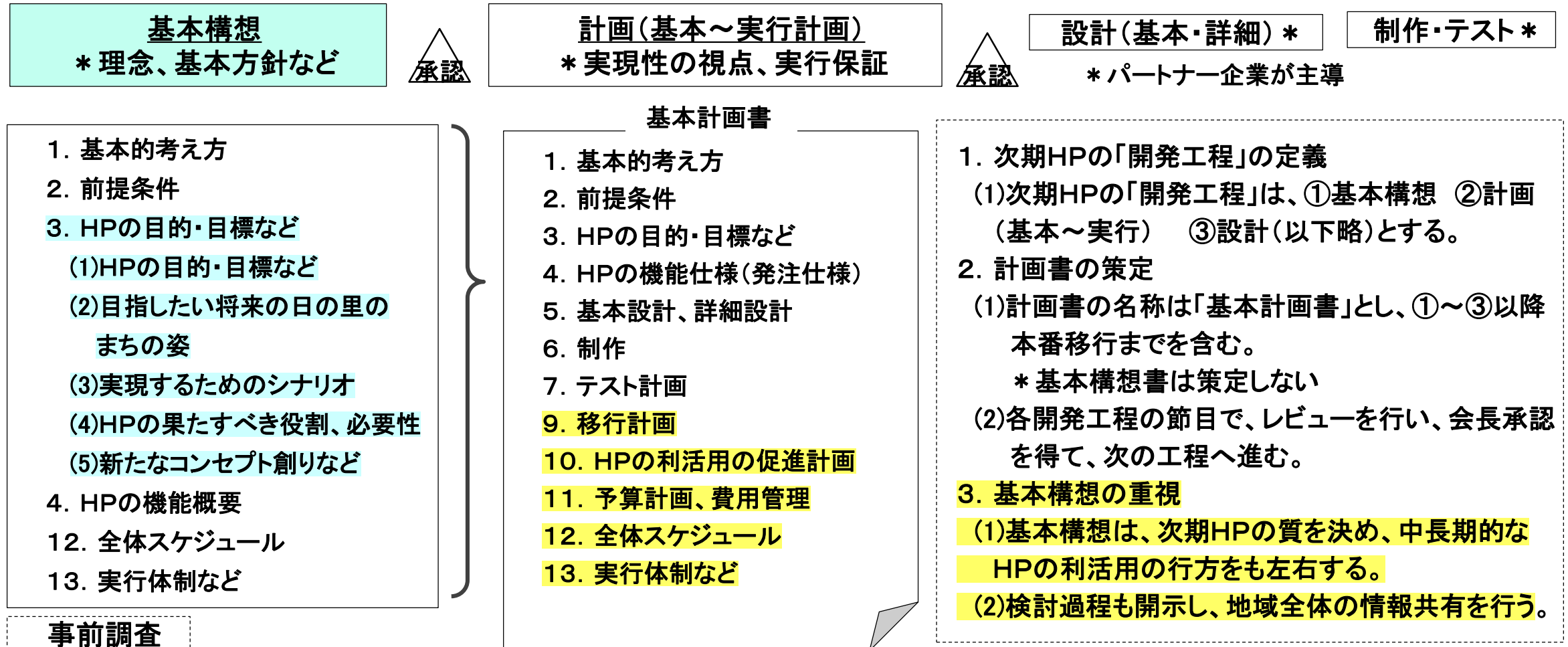
(2) HP再構築の過程、①「基本計画」策定 ②日の里HPとfacebookの利活用

③住民参加などが、今後の“課題解決型のまちづくり”の一步になり得る。

5. 次期HPの「開発工程」及び、「計画書」の考え方(素案)

2017/7/27

時間軸



4. 日の里HPの開発規模、発注仕様(要件定義)の特徴

* 市や企業のHPに比べて

- (1)次期HPの画面表示の大部分は、投稿記事の表示、このため、他のHPに比べ、開発規模は小さい。
(2)相性(移植性)のよい「HPひな形ソフト」を使用すると、工期が短縮される。

6. 次期HPの要検討課題(素案)

* 8月26日作業部会のキックオフ時の資料

1. 次期HPの要検討課題(素案)

* 7月26日、29日の会議資料を基に作成

2017年8月25日 a TM

No.	課題	要検討項目、コメントなど	開始/終了日	責任者・担当
1	実行体制	名称、位置づけ(協議会の案件又は、広報部会の案件か)、組織体制 参加者(三役、広報部会、まちづくり委員、大学など)		
2	検討の前提条件、活動方針	(1)検討範囲、例、Facebookは対象外。検討の将来期間10年 (2)外部とのコラボ方式、プロジェクトの見える化、課題解決型案件の試行		
3	HPの目的・目標・必要性の確認 ⇒ 全てに関り大切	(1)協議会の規約(目的)などを参照 ⇒ 認識合わせ (2)現行HPの資料を基に、見直し改定を行う(第1ステップ)		
4	HPの枠組み、性格づけ	(1)まちづくり総合型(現行HP)又は、お知らせ型(事務局案)か。 (2)他地区コミュニティのHP参照		
5	実行スケジュール	(1)基本スケジュールの作成 ⇒ 主なアイテム?の確定の時期 ①目的・目標 ②HP機能(発注仕様) ③予算枠、発注 ④本番移行など (2)作業スケジュールの作成 ⇒ 会議の日程、実施事項、参加者など		
6	現行HPの意見、提案などを、次期HPへ反映(総括)	(1)まちづくり委員会の「ミニワークショップの“意見”」に対する、「広報部会?の“回答”」など参考に進める。(事務局HP資料なども参照)		
7	HPの概念図(全体像)	(1)現行HPの資料を基に、見直し改定を行う。 (2)一部、素案あり		
8	メニュー構成(サイトマップ)	(1)現行HP、事務局案など、参考にする。 (2)一部、素案あり		
9	トップ画面の構成	(1)トップメニュー、お知らせ、新着情報、行事予定など (2)一部、素案あり		
10	投稿機能(画面)	(1)事務局案をベースに一部、素案あり		
11	投稿記事表示機能(画面)	(1)事務局案をベースに一部、素案あり		
12	管理データの採取機能(統計資料)	(1)アクセス件数、投稿件数など (2)管理用の画面、帳票		
13	HPの投稿者とセキュリティ機能	(1)HP協力員(一般住民)による投稿とセキュリティー対策⇒運用を含む (2)HP投稿記事に対する、住民クレームの調査(状況・原因・対策など) (3)HP管理者の効率的な作業のための支援機能(画面、帳票類)		

7. 次期HPの要検討課題(素案)

* 8月26日作業部会のキックオフ時の資料

No.	課題	要検討項目、コメントなど	開始/終了日	役割分担
14	HPのパソコン用、スマートフォン用の専用画面	(1)パソコン、スマートフォンの双方から利用できる専用画面		
15	HP事業者の選定	(1)事業者の継続性、HPの製作の技術力、信頼性、不具合発生時の対応力 妥当な費用、レンタルサーバ(ハードウェア全般)の信頼性など		
16	発注仕様書	(1)HP事業者からサンプルの入手		
17	HP事業者との契約			
18	機能仕様の事業者との摺り合わせ	(1)早い段階で、HP事業者に、会議に参加して貰う。		
19	本番移行準備	(1)操作説明書の作成 ⇒HP事業者 (2)啓発活動、操作説明会の開催 ⇒何時、誰が (3)HP投稿者の権限の付与(個人単位のID/パスワードの発行) ⇒事務局		
20	HPの試作品(プロトタイプ)の製作及び、テスト	(1)早期に“選抜チーム”にも使い勝手を検証して貰う⇒啓発活動の一環 本番移行後の変更は、費用が掛かり無理		
21	HPの製作	(1)HP事業者の作業 ⇒機能検証を含む		
22	HPの耐久テスト	(1)“選抜チーム”による同時一斉入力テストなど、計画的に行う。		
23	HPの本番移行	(1)現行HPのデータ移行はできない、議事録など引継ぎたい情報は、組織 団体体位に、計画的に手入力する		
24	本番移行後の役割分担	(1)協議会トップ層、構成団体リーダ層、事務局、広報部会、HP事業者など		
25	基本計画書の作成	(1)計画書の構成、目次建て、作成、検討会、承認 ⇒極力、簡素化		

8. <参考>作業部会発足時の課題

*平成29年8月26日の資料に追記

2018/2/15
TM

*当資料は7/26、8/29日の「三役/広報部会合同会議」の資料を基に⇒ 8/25日当“資料”作成 ⇒ 8/26日作業部会にて大筋合意

No.	課題（8/26日作業部会発足時）	要検討項目、コメントなど（8/26日同左）**一部修正	特記事項（2月以降追記）
1	実行体制	(1)名称、位置づけ（協議会の案件又は、広報部会の案件か）、組織体制 (2)参加者：三役、広報部会、まちづくり委員、大学など、コラボ方式	①検討会は実質委員会方式
2	方針 **	(1)検討範囲、例、Facebookは対象外。検討の将来期間10年 (2)外部とのコラボ方式、プロジェクトの 見える化、課題解決型案件を試行	① 見える化
3	HPの「目的・目標・必要性」の確認 ⇒ 全てに関り大切	(1)協議会の規約（目的）などを参照 ⇒ 認識合わせ (2)現行HPでの“知見”を含め、見直し改定を行う（第1ステップ）	① HPの今後の目的“必要性”まちづくり基本構想との関係
4	HPの枠組み、性格づけ	(1)まちづくり総合型（現行HP）又は、お知らせ型（事務局案）か。 (2)他地区コミュニティのHP参照	
5	実行スケジュール	(1)基本スケジュールの作成 ⇒ 主なアイテム？の確定の時期 ①目的・目標 ②HP機能（発注仕様）③予算枠、発注 ④本番移行など (2)作業スケジュールの作成 ⇒ 会議の日程、実施事項、参加者など	
6	現行HPの意見、提案などを次期HPへ反映（総括）	(1)まちづくり委員会の「 ミニワークショップの“意見” 」に対する、「広報部会？の“回答”」など参考に進める。（事務局HP資料なども参照）	① まちづくり委員会との連携 旧HPへの意見Q&A
7	HPの概念図（全体像）	(1)現行HPの資料を基に、見直し改定を行う。(2)一部、素案あり	① 現行HPの棚卸 「見える化」の成果と課題
8	メニュー構成（画面）	(1)現行HP、事務局案など、参考にする。(2)一部、素案あり	No.8～No.14は発注仕様書に反映
9	トップ画面の構成	(1)トップメニュー、お知らせ、新着情報、行事予定など (2)一部、素案あり	
10	投稿機能（画面）	(1)事務局案をベースに一部、素案あり	
11	投稿記事表示（画面）	(1)事務局案をベースに一部、素案あり	
12	12 管理データの採取機能（統計資料）	(1)アクセス件数、投稿件数など (2)管理用の画面、帳票	

9. <参考>作業部会発足時の課題

*平成29年8月26日の資料に追記

No.	課題（8/26日作業部会発足時）	要検討項目、コメントなど（8/26日同左）**一部修正	特記事項（1/30日追記メモ）
13	HPの投稿者とセキュリティ機能	(1)HP協力員（一般住民）による投稿とセキュリティー対策⇒運用を含む (2)HP投稿記事に対する、住民クレームの調査（状況・原因・対策など） (3)HP管理者の効率的な作業のための支援機能（画面、帳票類）	
14	HPのパソコン用、スマートフォン用の専用画面	(1)パソコン、スマートフォンの双方から利用できる専用画面	若年層、現役世代のHPの新たな利活用に期待
15	HP事業者の選定	(1)事業者の継続性、HPの製作の技術力、信頼性、不具合発生時の対応力 妥当な費用、レンタルサーバ（ハードウェア全般）の信頼性など	地元企業のホームスタッフ社に確定
16	発注仕様書	(1)HP事業者と摺り合わせ	発注仕様書完了
17	HP事業者との契約		契約手続き完了
18	HP事業者によるHP基本ソフトの制作 ◇制作中	(1)HP事業者との発注仕様書の詳細確認 (2)HP事業者によるHP基本ソフト制作	HP基本ソフト制作中
19	本番移行準備 **No.19以降追記	(1)HP運用の役割分担 (2)HP利用規約 (3)HP協力員 (4)啓発活動の準備 (5)操作説明会 (6)HP投稿者のID・パスワードの取得	①HP本番開始に必要なHP運用面の整備⇒(1)～(4)項
20	HPの試作品によるテスト ◇2月に予定	(1)作業部会にて、発注仕様書との整合、使い勝手など確認	
21	機能テスト ** ◇2月に予定	(1)作業部会、広報部会員、まちづくり委員等が合同で、発注仕様書通りに、又は、想定通りにHPが動作することを確認	①「テスト」には、広報部会員、まちづくり委員も参加
22	総合テスト ** ◇2月～3月に予定	(1)複数端末による同時入力テストを含む、総合的なテスト ☆総合テスト終了後の仕様変更（手直し）は、費用・工期がかかる。	①総合テストは仕様確認の最終工程
23	準本番 ** ◇3月に予定	(1)4/1日の本番開始の準備 ①サーバ、HP基本ソフト、データは、本番時と同じ動作環境 ②投稿用のID、パスワードなど初期入力を行う。	本番切替は4月1日
24	「次期HP概要書」の作成	(1)4月以降、HPの①直近の利用、啓発活動、②保守・改善 ③組織運営 ③業務引継など、中長期的にも必要な基本情報（見える化）	①HPの本番化の必要情報 ②次期HPの目的、可能性 若年層、現役世代の視点

*まちづくりの「見える化」 (1)鳥の眼、虫の眼、魚の眼 (2)支援を必要とする人たちの視点 (3)若年層、現役世代の視点 (4)担う人の視点